シリーズ別 選定・施工にあたってのご注意

① 基材表面の平滑性注意
基材表面の平滑性が仕上がりに影響を与えます。充分な下地調整を行い、ゴミなどの付着物を完全に取り除いてから貼り付けてください。基材には焼付塗装鋼板等、平滑な下地をお選びください。石こうボード、ケイ酸カルシウム板などはお避けください。

② フィルム表面のキズつき注意
フィルム表面に摩擦力が働くと、キズがつきやすいのでご注意ください。フィルムの貼り付けは、やわらかい布を巻いたスキージーで圧着してください。硬いもの（やわらかい布を巻かないスキージーなど）で圧着すると、フィルム表面を傷つける場合があります。スキージーに巻いたやわらかい布が摩耗したり汚れが付着した場合は新しい布に巻き換えて使用してください。

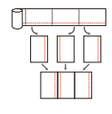
③ 突き合わせ時、柄合わせ注意
製造上の都合により、柄・エンボス柄のピッチが多少ずれる場合があります。突き合わせ貼りを行う際は柄合わせが難しいので、事前に柄合わせのズレが許容できるか確認してください。大柄、横柄、抽象柄などの理由で、突き合わせ部の柄が一致せず連続したように見えません。事前に突き合わせ部の見え方を大判のサンプルなどで確認のうえ施工するか、突き合わせ貼りを避け、目透かし貼りや目地棒を使用することをお勧めします。

④ 突き合わせ後、反射光による左右差注意
突き合わせ貼りの際、反射光により左右の色が異なって見えることがあります。事前に程度をご確認のうえ施工されるか目地どりをしてください。ロットによりばらつきが生じる場合がありますので同一ロットでご確認ください。

⑤ 施工後の照明環境注意
施工後のフィルムへの光の照射具合によって、表面に細かなキズやムラが見える場合があります。特にダウンライトなどの指向性のある照明の場合、細かいキズが目立ちやすくなります。

⑥ 重ね貼り注意
表面エンボスが粗いため、重ね貼りは避けてください。

⑦ 大面積施工時のエンボス周期性注意
表面エンボスの周期性が柄グセのように見える場合があります。特に大面積への施工、ダウンライトやスポットライトが当たる場所への施工はご注意ください。

シリーズ名	①基材表面の平滑性注意	②フィルム表面のキズつき注意	③突き合わせ時、柄合わせ注意	④突き合わせ後、反射光による左右差注意	⑤施工後の照明環境注意	⑥重ね貼り注意	⑦大面積施工時のエンボス周期性注意	その他
FW			● FW-791 など	●		● FW-1757		
FW-H 横柄 / WG-H 横柄			●	●				
MW	●	●						
ワイピング木目 W WG-156, WG-157, WG-159, WG-166			●					・フィルム表面に特殊な加工をしていますので、施工の際は突き合わせ貼りを避け、目透かし貼りもしくは目地棒をご使用ください。
WG-1070, WG-1071 WG-1812			● WG-1070 、1071	● WG-1812				・WG-1070、1071は色の濃淡により、横方向で柄が筋状に見えるため、突き合わせ部の柄が一致せず連続したように見えないことがありますのでご注意ください。
WG-GN グロス	●	●			●			・施工後のフィルム表面の清掃はやわらかい布を用いて、水拭きまたは中性洗剤を使用してください。硬い布や有機溶剤は表面を傷つけたり変質したりする場合がありますので、使用しないでください。
SI			●	●	●		●	・裏面剥離紙ロゴと施工箇所の天地を合わせて施工してください。
NU			●	●	● NU-1795、1796、1797	● NU-1795～1797、2001～2017を除く	● NU-1795～1797	・❗ 三次曲面へ施工の際はご注意ください。（NU-1795、1796、1797は除く。） ・NU-1795、1796、1797は、裏面剥離紙ロゴと施工箇所の天地を合わせて施工してください。
FE			●	● FE-1733、1966、1967		● FE-801、804 、805 、813	●	・❗ 三次曲面には施工しないでください。また、貼り剥がしや、エッジ部の施工、冬場の施工時には注意してください。過剰に引き伸ばすと、フィルムが裂けることがあります。
FA			● ※1	● ※1				※1 対象となる品番は、FA-592、1094、1156、1161、1163、1164、1166、1167、1530、1531、1962です。
HS			●					
AE			●	●		● AE-1956 、1957		
RT			●	●				
ST			● ST-1195、1586、1587、1588、1831					
CN			●	●				
PC				●				
SE		●						
ET	●		●	●				・見る角度、光の当たる角度、貼付下地の形状などによって、色味が変わる特徴をもった製品です。 ・強く折り曲げると、表面に折れジワがついてしまいます。施工上の取り扱いには十分にお気をつけください。 ・ETシリーズは、他の製品よりも切断面が目立つ場合があります。
AM	●		●	●	●	● AM-1696 、1699、1700、1701、1722	● AM-1697、1698、1702、1720、1721	・貼り直しなどの作業は接着剤とフィルムの間に剥離を起こしやすいので避けてください。 ・シートを過剰に引き伸ばすと、色調、模様にムラが生じることがあります。❗ 三次曲面へ施工の際はご注意ください。 ・強く折り曲げると、表面に折れジワがついてしまいます。施工上の取り扱いには十分にお気をつけください。 ・アクリル、ABS等のプラスチック素材や、表面にエンボスがあり平滑でない下地に施工する場合は、アウトガスによって膨れが生じる可能性がありますので予めご注意ください。 ・施工時は目安として15℃以上の施工環境で圧着してください。温度が低いと接着不良が生じたり、施工後にフィルムが膨れる場合があります。15℃を下回る際には、温風ヒーターなどを使用して、下地基材やフィルムの温度を上げて圧着してください。その後、温風ヒーターなどでフィルム表面を暖め気泡が生じる場合は、再度十分に圧着してください。 ・AM-1697,1702,1721は、裏面剥離紙ロゴと施工箇所の天地を合わせて施工してください。 ・端部に湿気が継続して触れた場合や、清掃の際に酸性やアルカリ性の洗剤を用いてフィルムの端部に触れた場合、フィルムが変色する場合がありますので、フィルムエッジにシーリング材を塗布して保護してください。使用するシーリング材はポリイソブチレン系を推奨します。変性シリコーン系は不具合を生じることがあるため推奨しません。
CH	●		●	●			● CH-2116～2120	
VM	●		● VM-1691～1693、2034 ～2036 、2090	● VM-2037 ～2039 、2121、2122	●		● VM-2121、2122	・貼り直しなどの作業は接着剤とフィルムの間に剥離を起こしやすいので避けてください。 ・シートを過剰に引き伸ばすと、色調、模様にムラが生じることがあります。❗ 三次曲面へ施工の際はご注意ください。 ・アクリル、ABS等のプラスチック素材や、表面にエンボスがあり平滑でない下地に施工する場合は、アウトガスによって膨れが生じる可能性がありますので予めご注意ください。 ・施工時は目安として15℃以上の施工環境で圧着してください。温度が低いと接着不良が生じたり、施工後にフィルムが膨れる場合があります。15℃を下回る際には、温風ヒーターなどを使用して、下地基材やフィルムの温度を上げて圧着してください。その後、温風ヒーターなどでフィルム表面を暖め気泡が生じる場合は、再度十分に圧着してください。 ・端部に湿気が継続して触れた場合や、清掃の際に酸性やアルカリ性の洗剤を用いてフィルムの端部に触れた場合、フィルムが変色する場合がありますので、フィルムエッジにシーリング材を塗布して保護してください。使用するシーリング材はポリイソブチレン系を推奨します。変性シリコーン系は不具合を生じることがあるため推奨しません。
ME / PA	●		● ME-1961、2020 、2022 ～2027	●				
TE / CA	●	●	●	● CA-418 、420 、422		● CAのみ	● TE-1690	・フィルムに荷重がかかると押し痕がつくことがありますのでご注意ください。 ・TE-1690は、ダウンライトやスポットライトが当たる場所で大面積に施工すると柄グセが見える場合がありますのでご注意ください。裏面剥離紙ロゴと施工箇所の天地を合わせて施工してください。
RS	●	●	●			●		・フィルムに荷重がかかると、押し痕がつくことがありますのでご注意ください。 ・付着した汚れはすみやかに除去してください。エンボス溝に汚れが入り込み落ちにくくなります。清掃は3M™ ダイノック™ フィルムの清掃方法に従ってください。（P26参照）❗ 三次曲面に施工する際はご注意いただくか、施工を避けていただく製品です。
HG	●	●			●			・屋外、高温多湿な場所、収縮する基材（MDFなど）、❗ 三次曲面には施工しないでください。 ・フィルムに伸縮性がないので、ひずみが生じたりシワを伸ばして貼り付けると、時間とともに筋状に膨れてくることがありますので、貼り始めの位置決めを正確に一回で行ってください。 ・貼り剥がし作業はフィルムに折れジワが発生しますので避けてください。 ・曲げシロは6mm以上とってください。それより短い場合、施工後に浮いてくる可能性があります。 ・突き合わせ貼りの際、突き合わせ部が線状に目立つことがあります。事前にご確認のうえ施工されるか目地どりをしてください。 ・アクリル、ABSに施工する場合は、アウトガスによって膨れが生じる可能性がありますので予めご注意ください。 ・フィルム表面の指紋などの汚れは高光沢のため目立ちますが、布で乾拭きまたは水拭きすれば除去できます。
LW	●	●	●	●				・フィルムに荷重がかかると、押し痕がつくことがありますのでご注意ください。
BW	●	●		●	●		●	・❗ 三次曲面へ施工の際はご注意ください。 ・光の当たる角度によって僅かな光沢むらが発生することがありますので、隣合わせになるフィルムは同一エッジに合わせてください。（右図） ・フィルムに荷重がかかると、押し痕がつくことがありますのでご注意ください。 ・⚡がある品番については以下の点に特にご注意ください。 - 本シリーズはフィルム表面に微細なエンボス加工を施しているため、施工時のスキージング圧力による傷が目立ちやすい傾向にあります。 - 表面のエンボス加工を傷つけないよう②フィルム表面のキズつき注意をご確認ください。 - また、Dボード工法等において保管及び輸送時にフィルム同士を重ね合わせると傷がつく場合がありますのでご注意ください。 
LE		● LE-1226 、1228、1229、1231、1551、1552		● LE-1171	● LE-1171	● LE-1104～1106、1108、1109、1226、1228、1229、1231	●	・LE-1552は❗ 三次曲面貼りなどで過剰に引き伸ばすと、フィルムが裂けることがあります。
PS		● PS-1183		● ※2	● PS-1183			・PS-1183は艶消しの風合いを出すため表面に特殊樹脂を使用していますので、他のシリーズに比ペキズ、耐汚染性が劣ります。頻繁に人の手が触れる用途、飲食店でのご採用はお控えください。 また、施工後のフィルムへの光の照射具合によって、表面に筋状のムラが見える場合があります。特にダウンライトなどの指向性のある照明の場合、目立ちやすくなります。 ※2 対象となる品番は、PS-107、110、140、292、293、294、504、668、885、948、992、1005、1183です。
LZ								
PG								
PT								

シリーズ別 選定・施工にあたってのご注意

① 基材表面の平滑性注意
基材表面の平滑性が仕上がりに影響を与えます。充分な下地調整を行い、ゴミなどの付着物を完全に取り除いてから貼り付けてください。基材には焼付塗装鋼板等、平滑な下地をお選びください。石こうボード、ケイ酸カルシウム板などはお避けください。

② フィルム表面のキズつき注意
フィルム表面に摩擦力が働くと、キズがつきやすいのでご注意ください。フィルムの貼り付けは、やわらかい布を巻いたスキージーで圧着してください。硬いもの（やわらかい布を巻かないスキージーなど）で圧着すると、フィルム表面を傷つける場合があります。スキージーに巻いたやわらかい布が摩耗したり汚れが付着した場合は新しい布に巻き換えて使用してください。

③ 突き合わせ時、柄合わせ注意
製造上の都合により、柄・エンボス柄のピッチが多少ずれる場合があります。突き合わせ貼りを行う際は柄合わせが難しいので、事前に柄合わせのズレが許容できるか確認してください。大柄、横柄、抽象柄などの理由で、突き合わせ部の柄が一致せず連続したように見えません。事前に突き合わせ部の見え方を大判のサンプルなどで確認のうえ施工するか、突き合わせ貼りを避け、目透かし貼りや目地棒を使用することをお勧めします。

④ 突き合わせ後、反射光による左右差注意
突き合わせ貼りの際、反射光により左右の色が異なって見えることがあります。事前に程度をご確認のうえ施工されるか目地どりをしてください。ロットによりばらつきが生じる場合がありますので同一ロットでご確認ください。

⑤ 施工後の照明環境注意
施工後のフィルムへの光の照射具合によって、表面に細かなキズやムラが見える場合があります。特にダウンライトなどの指向性のある照明の場合、細かいキズが目立ちやすくなります。

⑥ 重ね貼り注意
表面エンボスが粗いため、重ね貼りは避けてください。

⑦ 大面積施工時のエンボス周期性注意
表面エンボスの周期性が柄グセのように見える場合があります。特に大面積への施工、ダウンライトやスポットライトが当たる場所への施工はご注意ください。

シリーズ名	①基材表面の平滑性注意	②フィルム表面のキズつき注意	③突き合わせ時、柄合わせ注意	④突き合わせ後、反射光による左右差注意	⑤施工後の照明環境注意	⑥重ね貼り注意	⑦大面積施工時のエンボス周期性注意	その他
DW-MT		●	● DW-1900HMT		●	● DW-1892MT		艶消しの風合いを出すために表面に特殊コーティングを使用しており、構成や色柄によって取り扱いが異なりますので、以下の点にご注意ください。 ・❗三次曲面への施工はご留意ください。過度の加熱により表面の特殊コーティングが変色・変質する場合があります。 ・他のシリーズと比べ、濃色ではキズ、淡色では汚れが目立つ場合があります。特に単色（PS-MTやVM-MT）ではキズや汚れが目立ちやすいため、頻繁に人の手が触れる箇所でのご使用はご留意ください。 実際のキズや汚れの程度は事前にサンプルを入手してご確認ください。但し、下記の要領でメンテナンスすることで回復しやすくなります。 傷　：ある程度の傷は時間とともに復元し、更にマイクロファイバークロスで水拭きすると短期間で復元します。 但し、硬い物などで表面の特殊コーティングが損傷すると復元いたしませんのでお取扱いにご注意ください。 汚れ：油脂汚れなど頑固な汚れが付着した場合は、マイクロファイバークロスに3M™ クリーナー20（IPA）を十分に湿らせて拭取ることで回復する傾向にあります。 フィルム表面に直接吹きかけると痕になって見える場合があります。特に、濃色柄では白っぽく痕が目立つ傾向にあるため、ご使用はお控えください。 ・⚡選定時及び施工時の取り扱いについて、特に以下の点にご注意ください。 - 物が衝突する箇所、表面に衝撃が加わりやすい箇所でのご使用はご留意ください。 - 施工時のスキージングなどの圧力で白い押し跡のように見える場合がありますが、上記の要領で対応してください。 - 入隅や突合せなどで布を巻かずにスキージーを使用する場合は、スキージーに3M™ PTFEテープ5480, 5490を巻いて使用してください。 - また、Dボード工法等において保管及び輸送時にフィルム表面同士を重ね合わせるとキズがつく場合がありますのでご注意ください。 - VM-MTシリーズは他のシリーズに比べて裂け易いのでご注意ください。特に施工時のフィルムの貼り剥がし、カッターによる切り込みを行う場合に注意が必要です。 切り込みがキッカケとなり裂けてしまうことがあります。その他にVMシリーズのご注意もご確認ください。 - VM-MT、PS-MTシリーズは点状の光沢違いが見られる場合がありますので、視線が特に届きやすい環境などでご使用になる場合はご注意ください。
NU-MT		●	● NU-1934MT ～1938MT、1942MT、1943MT	● NU-1934MT ～1938MT、1942MT、1943MT	●	●		
AE-MT		●	● AE-1926MT 、1928MT～1930MT、1944MT、1959MT、1960MT		●	● AE-1928MT 、1959MT		
ST-MT		●	● ST-1912MT、1914MT、1918MT、1920MT、1927MT		●			
SU-MT		●	●		●			
VM-MT	●	●	● VM-1862MT	●	●			
PS-MT		●			●			
FW-AR				●	●			・本シリーズの上に重ね貼りする場合は、重ねる部分の下側のフィルム表面をサンディングしてから3M™ プライマーDP-900N3を塗布してください。 ・耐摩耗性を向上した製品ですが、刃物など鋭利なものや強い衝撃では傷がつく場合があります。 ・フィルム表面に爪やスキージーなどが擦れると、付着した汚れが白い傷のように見える場合があります。水拭きすることで汚れを清掃することが可能です。 ・見る角度や光の当たり方によっては柄のようなものが見える場合があります。 ・硬い布や有機溶剤で表面を清掃しないでください。特にシンナー拭きによる白濁が目立つことがあるため、十分にご注意ください。
FW-HAR			●	●	●			
WG-AR					●			
FA-AR			● FA-1530AR	● FA-1530AR	●			
AE-AR			●	●	●			
ST-AR			● ST-011AR					
SE-AR								
CH-AR	●		●	●				
ME-AR/PA-AR	●			●				
PS-AR				● PS-006AR ～008AR				
PT-AR								
PWF-500	●	●			●			・フィルムへの筆記には、ホワイトボードマーカーをお使いください。それ以外のペンで書いてしまうと消えないことがあります。 ・マーカー・イレーザーの種類により、消去性に若干の違いが出ますので、ご了承ください。特にPWF-500は、以下に挙げる推奨マーカー・イレーザーをご使用ください。 マーカー：メーカー／製品名 ぺんてる／ホワイトボードマーカーノックル中字 カウネット／ホワイトボードマーカー丸芯 アスクル／アスクルオリジナルホワイトボードマーカー イレーザー：メーカー／製品名 プラス／ホワイトボードイレーザー　ER-44369 ・使用初期は、マーカーによって筆記時インクのはじきが生じる可能性があります。数回使用していただくと、はじきをなくすことができます。 ・筆記後長時間放置すると、消去しにくくなる場合があります。筆記後はできるだけ早く消去してください。 ・下地の平滑性/不陸（凸凹）などが、筆記性/消去性や投影画像の品質に影響を与えますので、施工前に確認してください。 ・フィルムを伸ばしたり、折り曲げたりしますと表面層が損傷し、その部分はインクが消せなくなりますので、施工時はご注意ください。 ・フィルム表面にキズを付けると、凹部にマーカーのインクが入り込み汚れて消せなくなりますのでご注意ください。 ・一般的な3M™ ダイノック™ フィルムと異なりフィルムが引き裂けやすいのでご注意ください。特にWH-200、PWF-500については、冬期の低温時にフィルムが硬く脆くなるので、フィルムに衝撃を与えないでください。また目地処理や折り曲げはフィルムを加熱するなどして張付施工してください。 PWF-500 ・PWF-500はスクリーン＋ホワイトボード機能を持った製品ですが、WH-111、WH-200よりも消去性は劣ります。スクリーン機能が必要ない場合はWH-111、WH-200を推奨します。 WH-111 ・フィルムが硬いので、2次曲面、3次曲面への施工はできません。折り曲げたり、巻き込んで施工した場合、剥離することがありますので、お避けください。 ・施工可能な下地は平滑な鋼板のみになります。 ・PWF-500、WH-200は表面を特殊加工しており、3M™ プライマーDP-900N3の初期の密着力が低いのでフィルムを貼り剥がしせずに貼付するか、下側のフィルムの表面を研磨した後、3M™ プライマーDP-900N3を塗布してから重ね貼り施工を行ってください。
WH-200	●	●			●			
WH-111	●	●			●			
SR								・汚染後長期間経過した場合には、汚れが除去しにくくなる場合があります。
IL								・拡散反射を利用するため、狭い空間ほど効果が期待できます。その反面、大空間のような場所では効果が小さくなる場合があります。 ・条件や環境により、施工空間の明るさ感および床面照度を向上効果の表れ方は異なります。
DPF-100	・貼り付け下地は機能製品およびMTシリーズを除く3M™ ダイノック™ フィルムのみとなりますので、ご注意ください。 ・ウレタン製フィルムに感圧型接着剤が塗布してありますので、ライナー紙を剥がして圧着してください。 ・ダイノック™ フィルムに直接貼り付けてください。その場合、再剥離が可能です。（プライマーは塗布しないでください。） ・汚れが付着した場合は中性洗剤をご使用ください。なお、シンナー等の有機溶剤は、フィルムを変質させる場合がありますので使用しないでください。 ・このフィルムを貼ると下地のフィルムの色・質感が違って見えます。事前にご確認ください。							・通常のダイノック™ フィルムとは施工性が異なります。事前にご確認ください。 ・表面エンボスの形状によっては貼り付けに適さないシリーズがあります。またエンボスのくぼみには密着しません。 ・不燃認定は取得していません。 ・表面どうしが密着しやすいのでご注意ください。 ・空気抜けが均一にできないので、むらになって見える場合があります。 ・下地のフィルムが濃色の場合には、空気抜けのむらが見えやすい場合があります。
DR	・本製品は玄関ドアのリフォーム専用に開発された製品です。 ・貼付けは、塗装鋼板、塩ビ鋼板、アルミ板の扉に行ってください。 ・直接日光や雨があたる木質系のドアに施工した場合、膨れが発生することがありますので、施工しないでください。							・施工後の下地からの腐食は、フィルムでは防ぐ事はできません。 ・錆びて表面の鋼板が腐食しているものや、鋼板内部から水分が出てきているような扉には施工しないでください。
EX	・低温環境では、折れジワや裂け、フィルムの折曲げ部分の白化が発生しやすくなります。屋外で施工の場合、作業環境にはご留意ください。 ・他のシリーズに比べ、フィルムが裂けやすく、また折れジワがつきやすいのでご注意ください。特に施工時のフィルムの貼り剥がし、カッターによる切り込みを行う場合に注意が必要です。切り込みがキッカケとなりフィルムが裂けてしまうことがあります。 ・屋外耐候性に優れる製品ですが、傾斜面や水平面などでご使用の場合は、フィルムの劣化が早まることがあります。また、アルミニウム以外の下地でのご使用の場合も劣化が早まる場合があります。							・EXシリーズの表面はフッ素樹脂加工されておりますので本シリーズの上に重ね貼りする場合は、重ねる部分の下側のフィルムの表面をサンディングしてから3M™ プライマーDP-900N3を塗布してください。フィルム表面にシーリング材を使用する場合は、フィルム表面をサンディングし、シーリング材の使用方法に従い使用してください。 ・❗三次曲面への施工の際はご注意ください。フィルムに伸縮性がないのでひずみがかかったりシワを伸ばして貼り付けると、時間とともに筋状に膨れてくることがありますので、貼り始めの位置決めを正確に一回で行ってください。 ・ジョイント時の柄合せについては、対象となるダイノック™ 製品の「突合わせ時、柄合せ注意」をご確認ください。 ・施工の詳細とその他注意事項については、取扱説明書をご参照ください。